

研究指導 石光 真 教授

二本松市竹田根崎通りにおけるコミュニティツーリズムの可能性

渡邊 悠太

1. はじめに

1.1 研究背景

二本松市が作成した「二本松市過疎地域持続的発展計画」[1]では産業の振興の観点から現状や課題が掲載されており、産業全般、農業、林業、工業、商業、観光・レクリエーションに分類され掲載されている。観光・レクリエーションでは「近年、価値観の多様化により旅行者のニーズも変化しており、観光のスタイルは従来の名所を巡る観光から、体験型や学習型の観光、グリーンツーリズムやエコツーリズムなど自然とのふれあいを求める観光、癒しや安らぎを求める観光等多様化しています」とあり、岩代地域・東和地域では農村体験型グリーンツーリズムがなされていることからツーリズムが推進されていることがわかる。

1.2 コミュニティツーリズムとは

コミュニティツーリズムとは、地域コミュニティが主体となり、地域のために行う観光の形態で、コミュニティベースドツーリズム(CBT)と呼ばれることもある。地域が一体となって、地域の歴史や文化、産業、暮らしなどを保全しながら、これらの地域資源を観光コンテンツに造成する。また、対外の情報発信や観光に必要なインフラの整備も行う。こうした取り組みによって、地域社会の保護と経済の発展を両立し、地方の過疎化や限界集落などの問題の解決策として期待されている。[2]

1.3 二本松市竹田根崎通り商店街とは

福島県二本松市中心市街地でありJR二本松駅からは徒歩20分ほどと離れたところに位置している。

2. 先行研究

法島(2021)[3]ではコミュニティツーリズムは、地域住民のコミュニティツーリズムへの積極的な関与によって、これまで一部の観光地に偏在していた観光による収入を地方にも行き渡らせ、環境に配慮しつつ地方のコミュニティを活性化させるために必要な施策であると定義し、コミュニティツーリズムが観光施策として有効であることを示唆している。また現在では発展途上国や中進国における農村漁村などの開発に多用されているコミュニティツーリズムだが、原型は先進国におけるコミュニティ参加型観光開発の実践である。多くの途上国において、コミュニティがCBTに参加するための限界があり、先進国よりも途上国の

方がその制約は高い傾向にある。これは途上国における社会政治的、経済的、文化的な構造を反映したものであり、時間とともに変化する可能性があると考えられる一方で、開発によってもたらされる観光の形態や規模を地域社会はコントロールできない。コミュニティ参加型の観光開発アプローチの実行には、開発途上国の社会的、政治的、法的、経済的構造の全面的な変革が前提となり、そのためには国際援助機関、NGO、ツアーオペレーター、多国籍企業などが計画的に支援・協調するだけでなく、困難な政治的選択と社会、経済、環境における複雑なトレードオフを考慮した論理的な決定が不可欠であるとも定義し開発途上国におけるCBTの実践と成功には多くの前提条件が必要となることを明らかにした訳だが、逆説的には、先進国においてコミュニティ参加型の観光開発アプローチの導入が比較的容易であることを改めて示唆している。

3. 本研究の目的

二本松市が作成した「二本松市過疎地域持続的発展計画」で示されている産業の振興の観点からの現状や課題にツーリズムを活用した解決策が求められている。二本松市竹田根崎通りでのコミュニティツーリズムは可能であるかを明らかにすることを本研究の目的とする。

4. 研究方法

二本松市竹田根崎通りにお店を構える方々へのアンケートで観光面への意見などの調査し、二本松市役所観光課へのインタビューでは、二本松市が竹田根崎でどのような観光政策・観光PRをおこなっているか、コミュニティツーリズムは行われているのかを調査してコミュニティツーリズムを行うことは可能か調査する。

5. 調査結果

5.1 市役所へのインタビューの結果

二本松市役所では二本松市全体としては二本松市への集客のため、観光コンテンツに関するPRポスターの作成・市内外施設への掲出依頼を行っているほか、二本松市観光連盟HPや菊松君SNS等を活用して広く広報活動を行っている。しかし、竹田根崎にクローズアップした政策・PRは行っておらず、また竹田根崎にクローズアップした観光マップも存在しないことが分かった。また、二本松市全体の政策を見たと

しても、コミュニティツーリズムに該当する政策は行っていないことも分かった。

5.2 二本松市竹田根崎にお店を構える方々へのアンケートの結果

5.2.1 アンケート項目

- ① 性別・年代を教えてください。
 - ・男性:女性
 - ・10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、無回答。
- ② 二本松市竹田根崎は観光地である。
 - ・そう思わない、少しそう思わない、思う、少しそう思う、とてもそう思う。
- ③ 二本松市竹田根崎は観光資源が豊富である。
 - ・そう思わない、少しそう思わない、思う、少しそう思う、とてもそう思う。
 - ※理由があればお書き願います。
- ④ 二本松市は観光資源を有効に活用できている。
 - ・そう思わない、少しそう思わない、思う、少しそう思う、とてもそう思う。
 - ※理由があればお書き願います。
- ⑤ 外国人観光客がお店に来た時二本松市竹田根崎を紹介できる。
 - ・そう思わない、少しそう思わない、思う、少しそう思う、とてもそう思う。
 - ※理由があればお書き願います。
- ⑥ 二本松市竹田根崎を観光面で盛り上げたいと考えている。
 - ・そう思わない、少しそう思わない、思う、少しそう思う、とてもそう思う。
 - ※理由があればお書き願います。
- ⑦ コミュニティツーリズムという言葉を知っている。
 - ・はい、いいえ

5.2.2 アンケート結果と分析

- ① 男性:10代27パーセント、20代0パーセント、30代0パーセント、40代9パーセント、50代46パーセント、60代18パーセント、70代0パーセント、80パーセント。女性:10代0パーセント、20代20パーセント、30代0パーセント、40代20パーセント、50代40パーセント、60代20パーセント、70代0パーセント、80代0パーセント。

図1: 竹田根崎は観光地である

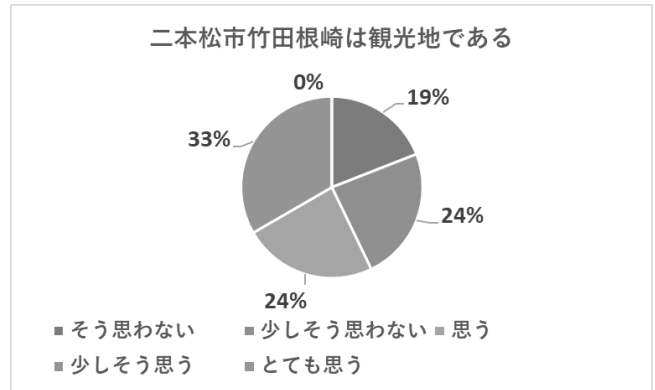
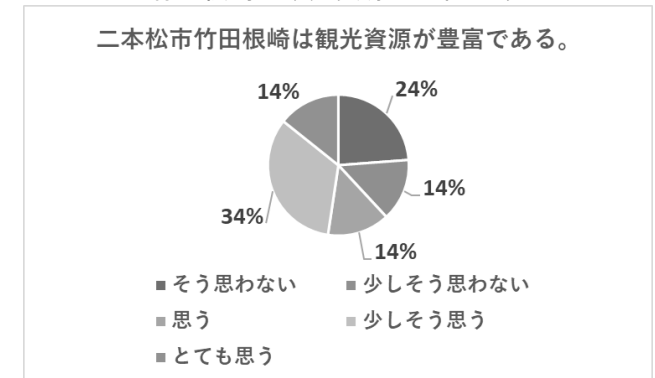
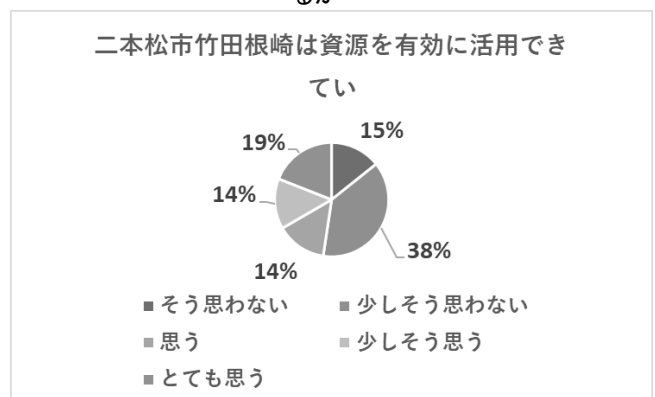


図2: 竹田根崎は観光資源が豊富である



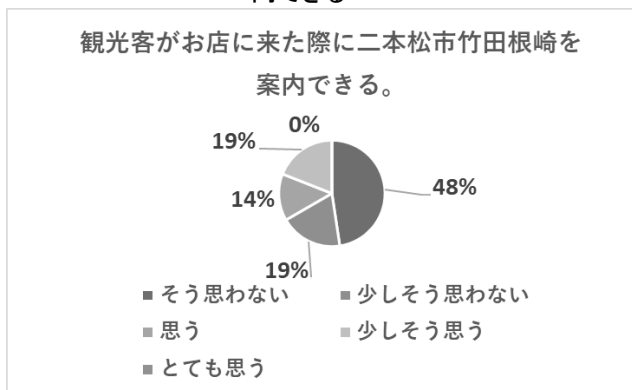
- ・お寺や大七酒造などはあるがほかには思い浮かぶものがない。
- ・いろいろな観光資源(霞ヶ城、智恵子の森)が豊富だから。

図3: 二本松市竹田根崎は資源を有効に活用できているか



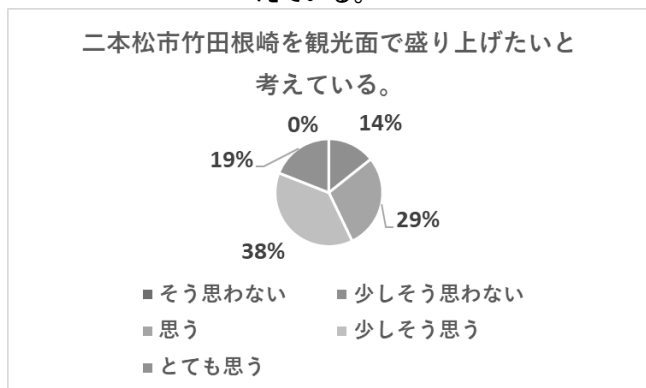
- ・桜や菊人形などはその時期だけのものなので年中通して観光できるものを見つけたほうが良いと思う。
- ・いろいろなイベントを行っている。(菊人形、提灯祭り)

図4観光客がお店に来た時に二本松市竹田根崎を案内できる



- ・英語が話せない。
- ・お店の数が少ない。

図5: 二本松市竹田根崎を観光面で盛り上げたいと考えている。



- ・活気があまりないのでにぎやかにしたい。
 - ・コロナ禍でお客様が少ないのでなにか行動したい。
- ②、③から竹田根崎にお店を構える人々の半数以上は竹田根崎が観光地であり観光資源が豊富であると自覚している。その反面④、⑤からは観光資源を有効に活用できていない・観光客が来ても竹田根崎を案内する自信がないという意見が半数以上を占めている。これは二本松市が竹田根崎にクローズアップした観光政策・観光PRなどを行えていないことで竹田根崎にお店を構える人々ほどのようなことを行えばいいのかわかっていないという現状があるからである。しかし⑥からわかるように80パーセント以上の人々が竹田根崎を観光面で盛り上げたいと考えており、またこのままではいけないという危機感も持っている。

6. まとめ

インタビュー調査とアンケート調査の結果によって、二本松市根崎ではコミュニティツーリズムが行われていないこと、二本松市は竹田根崎にお店を構える人々は観光地としての自覚、観光面で盛り上げたいと考えてという意味や危機感があることが分かった。コミュニティツーリズムは住民主導のツーリズム形態であり、竹田根崎は十分な観光資源と人々の熱意・

危機感があるため二本松市竹田根崎通りでコミュニティツーリズムを行うことは可能であると考える。

7. 今後の課題

二本松市竹田根崎通りでコミュニティツーリズムを行うことは可能であるとわかったが具体的な政策の立案などには及ばなかったため、具体的な政策の立案を今後の研究課題とする。

謝辞

御多忙の中、アンケートにご協力してくださった二本松市市役所観光課の小山様、本研究のインタビューにご協力してくださった二本松市竹田根崎の皆様には厚くお礼申し上げます。

参考文献

- [1] 二本松市、「二本松市過疎地域持続的発展計画」
https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/data/doc/1646201273_doc_149_0.pdf
- [2] 訪日ラボ、地域住民主導の「コミュニティツーリズム」とは: インバウンド対策として注目される理由/国内事例も紹介、
<https://honichi.com/news/2020/12/10/communitybasedtourism/>
- [3] 法島、コミュニティベース・ツーリズム概説—CBTの概念定義と目的を中心として—、
https://tamagawa.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=1397&file_id=8&file_no=1

